

報告者：久木留 毅（文学部教授）

■ラフバラ大学研究拠点活動報告

No.14

11月5日(火)

■ Ian とのミーティング No.19

Play the Games と国際レスリング連盟(FILA)における会議の報告とディスカッション。



11月6日(水)

■ International Days in Loughborough UNIV

留学生を中心とした自国紹介のためのイベント視察。日本人留学もブームを出していた。現在、日本人留学生は約15名前後。一方中国人留学生は、一桁違う数がある。日本としても戦略的にスポーツ関係の留学生を増やすことが必要であり、その可能性は十分にあると考えられた。



11月8日(金)

■ JSC ラフバラ大学留学生勉強会

日本人留学生を対象として、次世代のための新しい勉強会を行った。さらに、前述の留学生増に関する政策立案とも関係する重要な案件と位置付けて実施した。

11月11日(月)

■ 日本ラグビー協会(JRFU)とラフバラ大学視察&ミーティングアテント

JRFU 薫田氏、安井氏とラフバラ大学側もイアン・ヘンリー教授、SDC 副部長アンディー・ボリー、ラグビー部ヘッドコーチのデーブ・モーリス等とのミーティングのサポートを実施した。



11月11日(月)-14日(木)

■ SPLISS カンファレンス(ベルギー)



前回のヨーロッパスポーツマネジメント学会に続いて SPLISS 主要メンバーと顔を合わせ、今後のネットワーキング促進に努めた。UK Sport に関する新たな情報についても収集できた。このようなカンファレンス、学会に参加することで得る情報は多い。

報告者：久木留 毅（文学部教授）

11月16日(土)–20日(水)

■ World Rugby Conference & Exhibition (アイルランド・ダブリン)



次期 IOC の有カスタッフとのコンタクトおよび IF 関係者とのネットワークキングとして重要な機会となった。これまでに無かった新しい多くの情報を得ることができると同時に新たなネットワークから、様々な可能性が生まれると感じた。



11月26日(火)

■ ラフバラ大学企業カンファレンス

ラフバラ大学に入っている企業約 50 社を集めてのカンファレンス。ラフバラ大学の今後の新ビジネス戦略に関する情報提供もあった。さらに、EIS やユーススポーツトラスト等も参加していた。さらに、図書館を情報収集源として使えることもアナウンスされていた。

11月28日(木)

■ Ian とのミーティング No.21

デンマーク、スイス、アイルランド出張に関して報告をし、イアンからも意見をもらった。さらに、2020 東京のレガンについて意見交換を実施した。

■ 故 奥 克彦氏追悼祈念レセプション(日本大使館/ロンドン)

大使館からの招待もあり参加した。JSC として存在意義を示す良い機会となった。大使館を始めとして在英の他の独立行政法人等とのネットワークを持つことができた。

まとめ

.....

今月も、海外におけるミーティングおよびカンファレンス参加から多くの情報を得ることができた。その中で新たなネットワークキングができた事は、2020 年、2020 年以降に繋がる大きな一歩であった。

残り4ヶ月となり、英国在住の仕上げの段階へと近づいてきた。これまで培ってきたネットワークを活かして、さらに有益な情報提供ができる様に努めていきたい。